



国際科学交流（DGSとの交流）1日目！

10月15日（水）、英国姉妹校のダートフォードグラマースクール（DGS）の生徒30名と教員の方が来校しました。2限は歓迎式典を行い、3限は普通科1年生とスカベンジャーハントをして交流、4限は2年生とレクリエーションをして交流、午後からは中学2・3年生と交流を行いました。



国際科学交流（DGSとの交流）2日目！

10月16日（木）、英国姉妹校であるダートフォードグラマースクール（DGS）の生徒と教員の方が再び来校しました。2限は3年生希望者との交流、3・4限は環境科学科1年生と**国際科学交流（英語ポスター発表）**、5・6限は1年生希望者（46名）と**共同実験講座**、7限は科学系クラブと交流を行いました。

■英語ポスター発表

日本の文化等について科学的な実験を行ったり、ポスターを用いたりしながら英語で紹介し、交流を図りました。

■共同実験講座

和歌山大学システム工学部の大須賀秀次先生と近畿大学生物理工学部の齋藤貴宗先生に講座をご担当いただきました。

☆大須賀先生の講座：「発光材料の合成と性質」

本課題では、最新の大型TVやスマートフォンなどに採用されることが増えている有機EL素子の発光材料に着目し、歴史的に重要な位置を占めるA1q₃を題材に、その合成および発光色の観察を行う。また、A1q₃の誘導体を合成し、A1q₃の性質との違いについて調べてみることにする。

☆齋藤先生の講座：「モデル生物線虫（C.elegans）の基本操作」

線虫（C.elegans）は、体長1mmほどの小さな線状の動物で、生命科学の研究のためによく使われます。本講座では、線虫のライフサイクルや性別の判断の仕方などの基本情報を学んだ後で、実体顕微鏡とピッカーによる線虫のピックアップの仕方、メスを使ったスライドガラス状での解剖の仕方を実習します。特に雌雄同体とオスの生殖腺の形態の違いや、胚発生の時期による細胞の大きさの違いなどに着目して、遺伝の本体である減数分裂についての理解に近づく事を目的とします。



主体性と科学コミュニケーション力が伸長した、有意義な2日間となりました！